

基本方針5 豊かな心をはぐくむ環境学習

長期目標 5-1 こどもたちの環境学習をすすめます

【10年後の目標】

項 目	現状値(H26)	10 年後(H37)
こどもたちが行う環境活動（地域版の環境活動、こどもエコクラブ ¹⁾ 、キッズ ISO14000 ²⁾ など）	4 団体	8 団体
食育・菜園体験への参加者	年 119 組	年 150 組
学校・保育所への出前環境授業	15 回	年 30 回
こども環境サミットへの参加者	177 人	200 人
身近な生きもの調査の実施	年 1 回	年 1 回
親子の環境学習や科学に親しむ教室の開催	年 47 件	年 50 件

※現状値(H26)は第二次環境基本計画の基準年度の状況です。

【プロジェクト】

①	こどもたちの環境学習を応援する
②	食育・菜園体験に参加する
③	学校・保育所での環境学習を支援する

①こどもたちの環境学習を応援する

環境市民会議と情報交換をしながら、こどもたちが取り組みやすい地域版の環境活動や、こどもエコクラブなどを応援します。出前環境授業を実施し、こどもたちに環境について理解を深めてもらいます。こどもたちの活動の成果は「こども環境サミット」で発表します。

また、これらの取り組みに対して、教育委員会や学校と連携して積極的に応援します。



こどもたちが大喜びのスターウォッチング
平成 19 年 8 月 10 日



平成 16 年から開催している千曲市こども環境サミット
平成 27 年 11 月 28 日

¹⁾ こどもエコクラブ：こどもたちが地域の中で主体的に、地域環境や地球環境に関する学習や活動を行う事業。環境省が支援しています。

²⁾ キッズ ISO14000：NPO 法人 国際芸術技術協力機構（アーテック）が、日本および世界各国に対して展開しているこども向けの環境教育プログラム。「入門編」「初級編」「中級編」「上級編」とステップアップする内容になっています。



身近な水の水質チェック（みんなの地球クラブ）
平成 22 年 5 月 15 日



地元で毎年協力「三滝の水生物教室」
平成 26 年 7 月 30 日



東小学校の環境学習「アプリコットタイム」
平成 19 年 8 月 23 日



戸倉小学校のピオトープづくり「どんぐりの木の植樹」
平成 24 年 11 月 16 日



千曲市協働の森づくりで「薪割り体験」
平成 23 年 10 月 8 日

←平成 16 年から続いている「千曲市の身近な生きもの調査」。小学 5 年生が夏休み中に身近な場所で身近な 20 種類の生きものを調べて報告してくれます。毎年、「こんなに生きものがあるなんて驚きました！」という感想文が多く寄せられます。

②食育・菜園体験に参加する

こどもたちが作る「お弁当展」を開催して、地産地消や親への感謝の心を学びます。また、地域の農業関係者に教えてもらいながら、「わくわく市民農業楽校」の開催や「たまねぎの収穫体験学習」、「芋掘り体験学習」、「姨捨の棚田での田植え、稲刈り体験」などを通じて、「食の大切さ」と「自然環境の大切さ」の理解をすすめます。



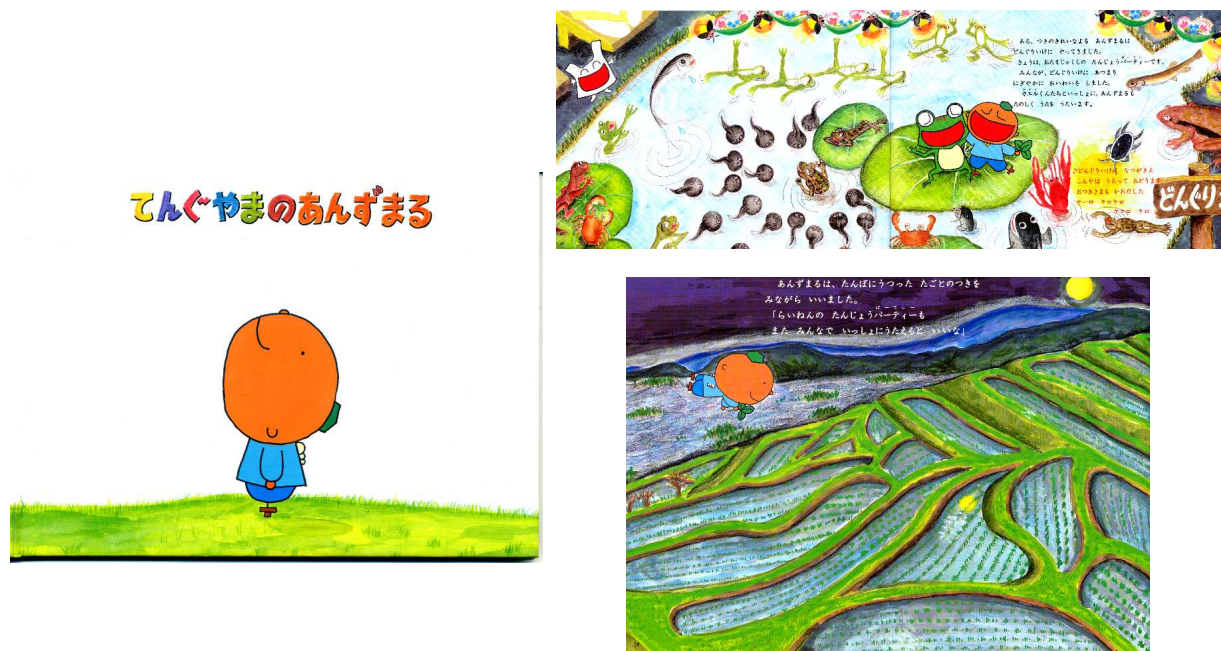
エコクッキング 平成 19 年 7 月 14 日



わくわく市民農業楽校 平成 26 年 9 月 10 日

③学校・保育所での環境学習を支援する

「もったいない」を学ぶ学習や、生きもののすみかづくりなど学校・保育所でのさまざまな環境学習の支援を実施します。環境サポーターなどを派遣するしくみづくりを行います。また、PTA や学校の教員を対象とした環境学習も視野にいます。



環境絵本「てんぐやまのあんずまる」

平成 22 年、千曲市の 13 名の保育士が編集委員となり、作画、作文、主題歌作りなどの工程をすべて自分達で行い、環境絵本「てんぐやまのあんずまる」を発行しました。「千曲市環境市民会議」では市内の自然について紹介し、監修しています。

主人公は、ちくまのさと、てんぐやまで修行に励む「あんずまる」。ビニール袋でせきとめられた千曲川の水が、元どおり池に流れ込むようにするために、森の動物みんなで力を合わせてビニール袋を取り除くというお話です。翌年には、武田徹さんの「言葉は力！ 朗読仲間大集合」(SBC ラジオ)で、2 週にわたって放送、紹介されました。

市民は

- ・ ともたちの環境活動に協力します。
- ・ 家庭や地域で協力しながら環境学習に取り組みます。
- ・ 保育所や学校が行う環境活動、環境教育に、地域のサポーターとして協力します。

学校は

- ・ ともたちの環境学習を、市民やPTA、専門家、教育委員会など対応する人たちと協力してすすめます。
- ・ ビオトープづくりや学有林づくりに積極的に取り組み、環境の専門家やサポーター制度を活用します。

事業者は

- ・ 施設見学や講師派遣等、ともたちの環境学習に協力します。

千曲市は

- ・ こどもエコクラブやキッズ ISO14000 などの環境活動を支援します。
- ・ こどもたちが取り組みやすい食育や菜園体験を展開します。
- ・ こども環境サミットを毎年開催します。
- ・ 環境サポーターを派遣するしくみづくりを行います。
- ・ 生涯学習などの出前環境授業に環境の専門家やサポーターを派遣します。
- ・ 保育所、学校、地域、専門家、教育委員会など行政の連絡体制を確立します。



夏休みにごみ処理施設を見学したともたち

平成 27 年 8 月 7 日

長期目標 5-2 市民の環境学習をすすめます

【10年後の目標】

項 目	現状値(H26)	10 年後(H37)
市ホームページ（環境部門）への訪問者	1,000 人 ¹⁾	年 10,000 人
「環境講座」の参加者	年 110 人	年 150 人
環境サポーターの登録	0 人	50 人

※現状値(H26)は第二次環境基本計画の基準年度の状況です。

【プロジェクト】

①	市ホームページ（環境部門）の利用をすすめる
②	環境講座を開く
③	環境学習のサポーター登録、派遣制度をつくる
④	環境施設見学会を実施する

①市ホームページ（環境部門）の利用をすすめる

市民が環境についてさまざまな形で学び、情報を得る場の一つとして市ホームページやフェイスブックで環境情報を発信します。

②環境講座を開く

私たちの毎日の生活は環境にどんな影響を与えているのでしょうか。「環境にやさしい生活」ってどうすればいいのでしょうか。「環境をよくする」活動にはどんなものがあるのでしょうか。市民みんなが環境にやさしく、環境をよくするような取り組みができるよう、環境講座を定期的開催し、環境を学ぶ支援をします。

③環境学習のサポーター登録、派遣制度をつくる

環境に対する専門的知識と行動力をもった市民や団体が、各講座や学校、保育所、公民館での環境学習を指導・支援しています。今後、さまざまな環境に関する資格をもつ方や、古き良き時代の環境に配慮した暮らしを知る方を「環境サポーター」として登録する制度や、市民が活用しやすい派遣制度を検討します。

④環境施設見学会を実施する

市内や近隣のごみ処理施設およびリサイクル施設の施設見学会を行います。これらの施設を見学することで、我々の生活が環境に与える影響や、負荷を知るきっかけとし、環境に対する理解や意識の高揚を図っていきます。

¹⁾ 市ホームページ（環境部門）への訪問者 現状値(H26)1,000 人：平成 27 年 4 月～平成 27 年 11 月までに市のホームページ（環境部門）を閲覧した訪問者の実績値。



市民による千曲衛生センター（千曲衛生施設組合）の見学会 平成 27 年 6 月 5 日

千曲衛生センターは、千曲市、長野市の一部、坂城町の 16 万人に及ぶ地域から生じた、し尿および浄化槽汚泥などを衛生的にリサイクルし、真水と汚泥肥料として環境に還元する最新の施設。施設の説明や処理された真水を見学するとともに、施設からの排水先である千曲川で水生生物の調査も行った。

市民は

- 市ホームページなどを利用して、市の環境情報を得て、環境施設見学会や環境講座、市民登山や自然観察会などの催しに積極的に参加して環境学習を深めます。
- 環境について学び、日常生活の中で環境に配慮した暮らしを実践します。
- 環境サポーターとして、市民の環境学習に協力します。
- 区や自治会による資源回収などに積極的に参加します。

学校は

- PTA や育成会による資源回収などに積極的に参加します。

事業者は

- 市ホームページなどを利用して、市の環境情報を得て、施設見学会や市民登山、自然観察会などの催しに積極的に参加して、従業員の環境学習を深めます。

千曲市は

- 市ホームページやフェイスブックで、市民に環境に関する取り組みや催しの情報を積極的に発信します。
- 環境について学ぶ講座や環境施設見学会、自然体験教室を開催し、環境に対する理解や意識の高い市民を育てます。
- 市民が活用しやすい、環境の専門家やサポーターの登録制度をつくりまします。

長期目標 5-3 環境への理解をすすめ、行動できる人を育てます

【10年後の目標】

項 目	現状値(H26)	10 年後(H37)
新たな環境問題を学ぶ機会	—	年 1 回
環境問題に関するアンケートの実施	—	1 回/3 年

※現状値(H26)は第二次環境基本計画の基準年度の状況です。

【プロジェクト】

①	新たな知見を学ぶ
②	環境問題に関するアンケートを実施する

①新たな知見を学ぶ

目まぐるしく移り変わる現在の情勢では、環境に関する課題、知見も次々と新しいものが発表されています。本計画の策定時には予見できないようなものも含まれている可能性があります。新たに出てくる課題、知見、計画へのすみやかな対応のため、新たな知見を誰もが学ぶことのできる機会を設けます。

②環境問題に関するアンケートを実施する

3 年に 1 回の頻度で、千曲市の環境に対する意識調査（アンケート）を実施します。アンケートは市民、事業者、市役所の各主体に対して実施し、アンケートの結果から得られた問題意識や意見を検討して、千曲市の環境をより良くするための行動計画を検討します。

市民は

- ・国内外の環境に関する先進事例に関心を持ち、家族など身近な人と話し合います。
- ・市が開催する「新たな環境問題を学ぶ機会」に参加します。
- ・市が実施する「環境に対する意識調査（アンケート）」に協力します。

事業者は

- ・国内外の環境に関する先進事例を学ぶ勉強会を開催するとともに、外部の勉強会や研修会に積極的に参加します。
- ・市が開催する「新たな環境問題を学ぶ機会」に参加します。
- ・市が実施する「環境に対する意識調査（アンケート）」に協力します。

千曲市は

- ・国、県、他の自治体が発信する環境保全に関する情報を職員に提供します。
- ・「新たな環境問題を学ぶ機会」を開催します。
- ・「環境に対する意識調査（アンケート）」を3年に 1 回実施します。

「ずく」を出して
みんなで力をあわせて
千曲市の環境を
よくするために
行動しましょう！



千曲市キャラクター「あん姫」